



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

2005年12月 December No. 283

Chartered July 20, 1982

主題 YS THEME (2005~2006)

センテニアルクラブ会長 : 『 発想の転換と共に行動の転換を! 』
 国際会長 : 『 求めるワイズから 行動するワイズへ 』
 アジア会長 : 『 行動するリーダーになろう 』
 西日本区理事 : 『 すずめ 愛と勇気をもって 』
 中西部長 : 『 認め合い、共に歩もう、ワイズたび 』

クラブ役員 Officers

会長 : 石津 雅人
 副会長 : 永島 寧
 書記 : 山田 孝彦
 会計 : 三浦 直之
 対外会長 : 谷川 有美子
 Y連絡職員 : 鍛冶田 千文

【 Biblical Message of December 】

ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。』
 (ルカ 2章 6-7)

【 December Club Meeting 】

『 テーマ: EMC-M (会員増強) 』

12月 第1例会

日時: 2005年12月14日(水) 18:30~20:30

場所: リーガランドホテル 5階

司会 坂本 千文メネット

1. 開会点鐘 石津 雅人会長
2. ワイズソング ー 同
3. ゲスト紹介 石津 雅人会長
4. 聖句朗読 石津 雅人会長
5. 今月のテーマ 畠中 彬君
6. 日々の糧・晩餐 ー 同
7. 納会 ー 同

ゲームとプレゼント交換を楽しみましょう

8. インフォメーション 各担当
9. お誕生日祝い・ニコニコ献金 ー 同
10. 閉会点鐘 石津 雅人会長

〜 プレゼント交換のため 各自一品 (1,000円程度のもの) をラッピングして ご持参ください! 〜

12月 第2例会

日時: 2005年12月21日(木) 18:30~20:30

場所: 大阪YMCA土佐堀館4階

*12月例会当番 2班 (福永、畠中、新保、坂本)

*12月お誕生日 中村隆メン 26日

大阪 YMCA 国際専門学校での教職体験

藤原 正巳

本年10月から、大阪YMCA国際専門学校で留学生を主体としたクラスを担当しています。教えるテーマはビジネスプレゼンテーションですが、授業を通じ感じるものが色々あります。最も強く感じることは、大阪YMCAが担っている役割の大きさです。学生の国籍は中国、韓国、香港、ロシア、ウクライナなど様々ですが、皆さんに共通しているのは学習意欲の高さです。中には居眠りしている学生もいますが、日本の学生に比べ目的意識がはっきりしており、その分受講態度も真面目です。中国、韓国といえば、昨今とかく政治問題がクローズアップされ、若者の反日思想が話題になっていますが、これらの学生からは全くそのような気配は感じられません。隣国との「政冷」現象は互いの国益も絡み急速な好転は望めませんが、このような時にこそ草の根ベースの交流が必要です。国際専門学校に学ぶ学生が、YMCAを通じて日本をありのままに理解し、母国で活躍してくれることを心より念じています。

【 クラブ統計 Statistics 】

2005年11月		種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員	15名	メン	12名	7名	11月: 切手 50 gr.	11月: 17,600円
		メネット	4名	名	現金 円	(05年7月~05年11月の)
例会出席	12名	ピシター	6名	名	(05年7月~05年11月の)	累計: 83,689円
うちメアップ	名	ゲスト	名	名	累計: 切手 880 gr.	[除く、クリスマス献金、
出席率	80.0%	合計	22名	7名	現金 1,000円	オークション、記念献金]

今月の聖句に寄せて

クリスマスというと、街角では賑やかに音楽を奏でイルミネーションが美しく光を放ちサンタクロース、クリスマスケーキ、ツリーというイメージが、日本の生活の中に定着してしまっていますが、イエス・キリストが不在でないクリスマスをお過ごししたいものです。

(聖句選、コメント：石津 雅人)

11月第1例会

【 Report of the October Club Meeting】

(11月16日(水) 1830~20:30

リーガグランドホテル・5階 桂の間)

松浦 孝次

〇わがクラブは16人が出席。ビジターとして、DBCの東京セントラルクラブ谷地会長、石井さんが来訪され、うれしいことでした。また豊中クラブ、土佐堀クラブ、大阪泉北クラブからも4人を迎えて、総勢22人と盛況でした。谷地会長によると、11月の東日本区のテーマが「IBC/DBC」とのこと。「来年には両クラブ合同の会を持ちましょう」と申し合わせました。

〇山田孝彦メンの司会。鍛冶田干文さんの聖句朗読につづいて、松浦孝次メンから11月のテーマについて説明。

今月のスピーカーは鍛冶田さん。創設から関わり、その運営責任者である大阪YMCA「表現・コミュニケーション学科」で学ぶ生徒たちについて報告。彼らにしっかり向き合い、いじめや無視を許さず、お互いに真剣に対応することを基本方針にしていること。社会性、コミュニケーション能力などに障害をもつ生徒たちが、安心できる環境にあって劇的に変わることを今体験している、と説かれました。

〇なお、会の冒頭、大阪YMCA国際リーダーの大澤千恵美さんから、ミャンマー・スタディツアー(12月下旬)へのカンパの要請があり、みなさんの大いなる協力により、20,200円が集まりました。

また新保正秋メンが、勤務が非常に多忙な中を、ほんとに久しぶりに出席してくれたことはうれしいことでした。



≡ Club Activities (November, 2005) ≡

On November 16, the club's November meeting was held at the Rihga Grand Hotel, Osaka with a total of 22 Y's men, Y's menettes, and Y'smen's guests in attendance. We were particularly happy to welcome our brother club's delegates from the Tokyo Central Club, Mr. HIDETOSHI YAJI, club president and Mr. KAZUYA ISHII, PAP. Following the opening ceremony, Ms. CHIEMI OSAWA, YMCA leader, asked us to help raise fund for her participation in the Osaka YMCA's Myanmar Study tour which would be held in coming December. Hope she is successful in raising required amount.

The highlight of the meeting was a speech made by Ms. CHIFUMI KAJITA, YMCA staff and our club member. She told us her various experiences at the Special Communication Course of the Osaka YMCA College. The course was newly opened for those children suffering from LD, ADHD and high-functioning autism. We were very much moved to learn that some of these children recovered from their ill conditions through the devoted efforts made by Ms. KAJITA and other YMCA staffs.

大阪YMCAチャリティーラン・2005

3位に入賞 !!



11月23日(祝・水) 浜寺公園で開催。わがクラブは1チームが宣言タイム制に参加、35チーム中、3位に入賞(1分2秒の誤差)しました。やったぜ!!

出場メンバーは、山田・新保・畠中君、応援選手の鈴木智子・坂本真由美さん(関西テレビ)に、早瀬和人・能勢口教会牧師(表現・コミュ学科の指導)。わがクラブからは、石津・三浦・松浦君が牽仕しました。

今回の支援金338万円が、障がいのある子どもたちの支援プログラムに用いられます。

(左は11月例会風景。上はチャリティーラン3位に入賞しました)

11月第2例会

【 Report of the November Club Meeting 】

(11月24日(水) 18:30~20:10 大阪YMCA)
出席:石津、鍛冶田、坂本、畠中、藤原、松浦、山田君 7名

1. 12月および1月以降の例会プログラムを検討。

12月の納金は、1年を締めくくるにふさわしい、ゲームなど楽しいプログラムでいこう。1月は、石津君による「パソコンの話」。2月は、朝鮮通信使について。3月は、梁馨一氏による「ちがいを豊かさ」。なお、健康ハイクは来春に実施する。

2. その他の協議

- (1) 次期クラブ会長、次期クラブ役員、そして次期中西部注査の候補について、協議した。
- (2) ミャンマー・チャイルドケア支援金について、赤字会計の現状から、金額修正の検討を行ったが、大阪YMCA、相手先との関係から、06年度は当面継続とし、07年度から見直す。
- (3) 来夏のフレンドシップ・キャンプ計画については、YMC A、沖縄アメリカンスクールをはじめ、関西テレビ、朝日など他の組織との連携、わがクラブの資金繰りの目途などを勘案しながら、どうするかを今後検討する。

とさぼりカーニバル

11月3日(木・祝) 11~15時

松浦 孝次

秋の一日、約800人が参加。土佐堀YMCAにつらなる人たち、地域の人たちとの交流の場として、終日にぎわいました。

全体の収益金は、27万円。クリスマス献金に捧げられ、留学生支援、地域奉仕・国際奉仕活動などに用いられます。

センテニアルクラブは、今年も1階でバザーを担当。石津・永島・中村茂・福永・三浦・山田・松浦メン、坂本・隅田・中村幸・松浦メネットが朝早くから参加し、奉仕しました。売上に努めた結果、42760円と、昨年の23,164円を大きく上回りました。なお、みなさまから 献品にご協力いただいたことに厚く感謝します。



(カーニバルのバザー会場でわがクラブメンバー。)

画像はちょっとボケていますが…)

YMCA ニュース

大阪YMCA国際専門学校 鍛冶田 千文

■ とさぼりクリスマスのつどい

12月9日(金) 18:30~20:30 大阪YMCA会館
「いのち」を考える静かな礼拝と祝会です。留学生30人をはじめ専門学校生や学生YMCAなどの若い人と、ワイズの皆さんとの交流が楽しみです。表現・コミュニケーション学科生も「Amazing Grace」を歌います。

■ 沢 知恵 チャリティークリスマスコンサート

12月16日(金) 19:00開演 大阪YMCA会館
3回目となった沢さんのコンサート。一月の母親となってしっとり、しっかり聴かせてくださいます。お友達お誘いあわせの上、ご参加ください。YMCA会員:2500円

■ クリスマス献金のお願い

土佐堀Yでの献金の40%は土佐堀Yが行う地域奉仕・青少年育成に用いられます。今年もご協力ください。

■ YMCA土佐堀保育園(仮称)の開設

西区およびその周辺に待機児童が増えている現状から、地域の教育ニーズに応えるため、2006年4月より土佐堀YMC A1階部分に「YMCA土佐堀保育園」を開設します。

11月B F ニュース

【 Report of the Brotherhood Fund in November 】

山田 孝彦(書記)

◇切手提供者:山田、松浦、三浦、福永君 計130gr

○今月の殊勲賞:山田君 70gr

お知らせ

1. 第9回 ワイズ中西部合同新年会

06年1月7日(土) 13:15~17:00 pia NPO

トルコ10日間の旅 (その2)

谷川 寛

前回、トルコは農業国であると言いました。バスで移動途中で小休止で立ち寄る停留所には売店があり、色んな種類の Dry fruits(乾燥果物)を売っています。クルミ、ピスタチオ、杏、イチジク、レイズン、乾燥りんご等と豊富です。私は朝食にシリアルを食べますので、これに入れる杏、イチジクを購入しました。

シルクロードの中継点として残されている貸宿(キャバ)・ラバは印象に残りました。石材と土を使って造られた宿で、小さな砦ともいえます。ここは市場にもなり、兵隊が常駐していたそうです。大昔の旅人は、夜は大変危険で、このような場所で宿泊したのでしょうか。内宿は、40名ぐらいの人々が宿泊でき、みんな自炊をし、地べたで寝る粗末なものです。EPA、ラダの林線所、坊場も兼ねます。バカの一行も、伝道旅行の途中、夜は信徒の家に泊まるか、当然このような場所を利用したものと思われる。

(4面につづく)

THE OSAKA CENTENNIAL



ニコニコ・メッセージ



[Messages from the Club Members]

ゲストからのメッセージ

- 先輩クラブさんの例会で学ぶことが多く、大変勉強になりました。例会の進行、プログラムなど、YMCAの教室で行っている例会を改善する必要を感じました。少しずつクラブ運営に反映したいと思います。卓話もよく理解でき感謝です。お世話様でした。(東京セントラルクラブ 石井 一也)
- 久しぶりに出席させていただきました。昨日は豊中の例会でヴォーリスの生涯を学びました。なかのしまの藤好さんが来られ、「心斎橋大丸の前で父とヴォーリスさんが写っている写真を持っている」と話されました。往年の大丸の設計者が、後年鈴木謙介さんとお付き合いされていることを初めて知りました。(豊中クラブ 石橋 ルキ)
- 表現・コミュニケーション学科での子ども達のことや、鍛冶田さんの奮闘振りが大変よくわかりました。(土佐堀クラブ 工藤 義田)
- 豊中クラブのチャーター以来、永年に亘っての交友を感謝いたします。本日は石井さんよりお誘いを受け、久方振りに出席させていただきました。この席に鈴木謙介さん、黒田さんが見えないことは淋しく思います。私の母教会・堺川教会会員の鍛冶田さんのお話をお聞きし、改めて見直しました。今後のご活躍を祈ります。有難うございました。(豊中クラブ 小島規少郎)
- 開会点鐘につづいて、Ysソングに英語の歌声が流れ、日本の例会では初めての体験で驚きと感動！ 食事モコース料理でリッチな気分になりました。阪和部新年合同例会のアピール、H17.1.14(土) PM1:00～、たかいし市民文化会館、会費¥8000。ご参加をお願いします。事務局は小路会計 (TEL06-6221-3780/FAX06-6221-3869) (泉北クラブ 小路 樹)

会員からのメッセージ

- 遠来のゲストを迎えての楽しい例会でした。感謝です。鍛冶田さんのお話で「表現コミュニケーション学科」の状況がよく分かりました。有難うございます。(石津 雅人)
- お話しする機会をいただき感謝です。生徒個々の違いを認め、あたたかい学級づくりが目標です。「Yの使命」の実現にむけての日々です。(鍛冶田 千文)
- 人のタイプには色々あって、そのことを知る事が大切なのだと思いました。知らない事は自分と違う人を受入れられない事だと思いました。(坂本 千香)
- 「表現・コミュニケーション学科」の様子についての鍛冶田さんのお話に感動しました。多くの生徒さんのために、益々活躍いただきたいと思います。(岡田 恵子)
- 今夜の卓話は大変有意義でした。ありがとうございました。(田中 穂コ)
- 久しぶりの例会でした。鍛冶田さん連関係者のご努力は貴重です。素晴らしい話で皆様にも聞いてほしいです。(中村 幸枝)
- 東京から、阪和部から、また新保さん、多くの参加者を迎えての楽しい例会でした。また鍛冶田さん、これからのセンテニアルにとって「活動のきっかけになるような大事なお話」、ありがとうございました。自分や 息子、娘のことを照らし合わせながら聞いていました。(中村 茂高)
- 鍛冶田さんのスピーチは、懇切な説明で説得力があり、有益な知識を得ました。(永島 寧)
- 思いもよらない障害を持つ若者がいることは全く驚きです。彼らの教育に当たる方々のご御苦労に 思いを致しました。(福永 嘉彦)
- この1ヶ月は変転極まる忘れがたい日々でした。大学の創立100周年記念論文を脱稿してほっとしたのも束の間、阪急梅田

駅構内で転倒し、左手指を骨折しました。幸い怪我は早く治りつつあります。左手は全治3ヶ月ということでゴルフもできず、悶々とした日々を送っております。しかし、今夜は東京セントラルクラブ谷治会長、石井直前会長他、多数のビジターを迎え賑やかな雰囲気でも随分癒されました。やはり多人数の例会はいいですね。(藤原 正巳)

- ゲストの多い賑やかな例会でした。鍛冶田さんのコミュニケーション障害の話をお聞き、いろいろなケースがあり、驚きました。(松浦 和子)
 - 多くのゲスト、とくに遠来の東京セントラル 谷治会長、石井さんを迎えて、実りのある例会でした。鍛冶田さんから表現・コミュニケーション学科の生徒たちの現状、背景、問題点を学びました。(松浦 孝次)
 - 石井様、谷治様ようこそいらっしゃいました。鍛冶田さんの「軽度発達障害」のお話し、大変参考になりました。(三浦 直之)
 - 日頃、何気なく使っている自分の言葉、行動が(他の人との関係にギャップを生じている)。それに気づかずに過ごしているのではないかと考えてしまうような、今夜のお話……。自分と他者とのすり合わせをもっと考えねば……。と思いました。(山田 孝彦)
- *****
トルコ10日間の旅 (その2) 3面からのつづき

カッパドキアという名前をお聞きになったことありますか？ 自然が造ったとは思えない奇岩、キリ岩や、加わらな岩肌が露出した地形です。火山の噴火や、風雨にさらされ何万年もかけて侵食されてきた大地です。カッパドキアの歴史は古く、BC7000年頃に人間が住み始めたそうです。7世紀ごろ、イスラム教徒はキリスト教徒を迫害。この地形にある地下都市は、その迫害を逃れて、キリスト教徒が住みついた場所です。聖母マリア、幼少のキリストなどのルビ画が、この地下の岩窟教会の壁画に残っています。10世紀頃、キリスト教とイスラム教の共存もみられましたが、トルコ共和国の成立とともに、この地方のキリスト教徒は、隣の国、ギリシャに去って行きました。現在キリスト教徒はほとんど住んでいません。

古代キリスト教神学の歴史において、カッパドキアの3教父による三位一体論は、重要な位置を占めています。AD313年、ミラノ勅令によりキリスト教がローマ帝国の国教となった後、都がコンスタンティノポリスに移り、キリスト教世界の中心も、東方に移りました。そして、三位一体という複雑な教理に包括的の回答をだしたのが、このカッパドキアの三人の教父でした。キリスト教の古典教義にカッパドキアの東方ギリシャ教父が関わったということは、この土地が、当時のキリスト教で大きな勢力を保っていたことがわかります。(次号に続く)



(トルコ・エフェソにある聖母マリアの彫像 11月号・その1参照)

《 編集後記 》

YMCAの12月プログラムとして、クリスマス礼拝と祝会(9日)、沢 知恵さんのチャリティコンサート(16日)が土佐堀館でもたれます。努めて参加したいものです。(松浦孝次)